



社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2022年

12月

No.297



地域福祉塾第3期生です。

これから地域を盛り上げていきます！

12月の社協だより

もくじ

- P2 地域福祉塾／地域福祉課
社会福祉士連絡会／コミュニティソーシャルワーカー（CSW）
- P3 高齢者相談・地域福祉委員例会／地域福祉課
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 親子食育講座／地域福祉課
地域サロン／地域福祉課
- P5 福祉体験学習 in 広安西小学校／在宅福祉課
- P6 活動団体紹介／地域支え合いセンター
球磨村、八代市支援／地域支え合いセンター
- P7 社協情報／ひきこもり相談窓口、もの忘れ相談室 など
- P8 地域サロン／上砥川、広崎一町内、平田下・西・境、田原
地域を支えるふくしの輪／火の国ボランティアフェスティバル

今月号の表紙は「地域福祉塾」です。第3期生は男性が多く修了されました。今後の活躍に期待です。

他にも当協議会が行った事業で「福祉体験学習」や「球磨村、八代市地域支え合いセンター運営支援」などを行っています。

社協情報には、12月の相談日やお知らせ等を掲載しています。

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会

地域福祉塾

地域福祉課

第3期生が誕生しました

令和4年8月3日(水)から始まった地域福祉塾の第3期生10名が10月12日(水)に講座(全10講座)を修了しました。

高齢社会や地域課題、地域で必要とされる支援を学び、地域活動を一緒に考え、受講生が考える「あったらいいな」を活動計画にまとめました。

コロナ禍での活動の工夫や平時の活動を災害時の互助へつなげる計画など、地域福祉塾を受講され、回を重ねるごとに集いの場・仲間づくりが健康寿命を延ばし、また活動が地



講座の様子

第3期生の活動計画(概要)

- ① 田畑を借りて、みんなが集まる場所として活動する地域の子どもから高齢者までが体験できるイベントを企画
- ② 子どもたちを守る活動(園児から中学生までの登下校の見守り)
- ③ 地区清掃活動(道路、神社等)。清掃活動を地域の情報共有(安否確認等)の場とする
- ④ 郷土料理教室、米粉料理教室
- ⑤ ラジオ体操
- ⑥ 防災倉庫の勉強会(活用や知識について学ぶ)
- ⑦ 災害時の対応計画(災害時のご近所助け合い計画)



身近な道具を使ったレクリエーションの様子

社会福祉士連絡会

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

高齢者の暮らしを地域で支える社会福祉士

10月27日(木)に町内の事業所に所属する社会福祉士を対象として、第4回社会福祉士連絡会(以下、連絡会)を開催しました。この連絡会は、社会福祉士の分野を越えた連携や相互理解を深めることを目的としており、当日は社会福祉士18名、オブザーバー2名の参加がありました。

今回は「地域包括支援センターにおける社会福祉士の役割」をテーマに柿原史明さん(東部圏域包括)と池田昌徳さん(西部圏域包括)に発表していただきました。柿原さんからは、地域包括支援センターが医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケ

アシSTEM)づくりを目指していることや配置されている3職種(保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士)の役割等について説明がありました。また、池田さんには事例をもとに個人、家族、地域、支援機関に対してどのような支援や働きかけが考えられるか検討し、エコマップ(本人、家族、社会資源の関係性を図にしたもの)を作成するというグループワークをしていただきました。

今回の連絡会は地域包括支援センターの役割を知るだけでなく、参加者の所属する分野によるアプローチや視点の違いについて考える機会となりました。



講師の池田さん(左)と柿原さん(右)



グループワークの様子

高齢者相談・地域福祉委員例会

地域福祉課

傾聴について学ぶ

9月30日(金)に第2回例会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1部(飯野・広安西・福田校区)と第2部(広安・木山・津森校区)に分かれて開催しました。

今回は、傾聴ボランティアくまもとの中村典子さんを講師に

「傾聴」について講話をいただきました

ました。日頃から担当地域の高齢者等のご自宅を訪問し、見守りされていますので、真剣なまなざしで講話を聴かれています。傾聴をするときは、相手の話に割り込まず、感情的にならず、効果的な相づちを行い相手の話を聴くことが大事だと学びました。

限られた時間内での研修でしたが、皆さんメモを取られ、多くのことを習得され有意義な時間となりました。



第1部(飯野・広安西・福田校区)



第2部(広安・木山・津森校区)

高齢者の生きがいづくり

シルバー人材センター

No.31

会員紹介 ～タスキ～

氏名 高村 光
所属 フリー班



会員登録のきっかけ

仕事から離れ、時間的余裕が増えたため、体づくりや仲間づくりをおして、より地域を知るために登録しました。

活動をおして思うこと

会員登録をしてもうすぐ20年になります。この歳になっても地域の中で元気に仕事ができているのは、日々、仕事を通じて顔見知りが増え、地域の方からも頼られるようになり、毎日新鮮な気持ちで生活できているからだと思います。

趣味

魚釣りが趣味です。昔は家の近くにある澄んだ川でたくさんの魚が釣れていました。最近では、川を泳ぐ魚を見かけることも減り少し寂しいです。

これからやりたいこと

今は、自転車での移動なので、仕事に行ける範囲が少し狭まりましたが、体を動かすことは好きなので、声がかかれば積極的に仕事に参加し、活動を続けていきたいです。



作業の様子

入会希望の方へ

現在、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。入会希望、活動内容について何かありましたらご連絡ください。

☎ 096-289-6092

親子食育講座

地域福祉課

食べることを楽しく！

今回は「食べることを楽しく！」をテーマに11月2日（水）、4日（金）に開催し、両日ともに5組の親子が参加されました。

内容は、町役場健康保険課の塚本管理栄養士からエプロンシアターを使ってバランスよく食べる食材について説明していただき、その後、町

食生活改善推進員協議会の倉岡さんと森さんにパッククッキングや牛乳もちなどのおやつ作り方を教えていただきました。実際に親子で材料を混ぜ試食していただきました。

今回はお父さんも参加されており

「料理はしたことないけど、おやつを作ってみよう」と思い、興味があったので参加しました」と話され、他の参加者からも「手作りはなかなかないけど、湯せんして作るパッククッキングは手軽にできそう」などの感想をいただきました。

今回は食育講座を行いました。親子講座は年に2回開催しています。様々な内容を企画していますので、親子の交流も深めながら学びの場としてぜひご参加ください。お知らせは社協だよりやホームページに掲載

します。



11月2日参加の皆さん



11月4日参加の皆さん



試食の牛乳もち、上手くできたかな？



エプロンシアターでバランスの良い食事を

地域サロン

地域福祉課

福原地区「福寿会」が再開しました

熊本地震後から休止していた福原地区サロン「福寿会」が10月6日（木）に再開されました。

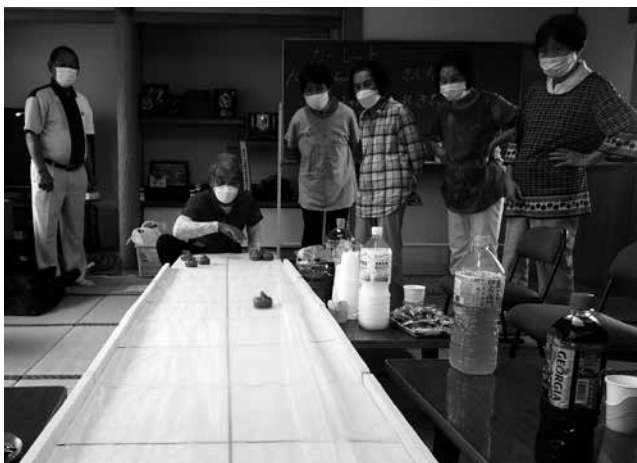
この日は7名が参加され、「地震後また再開できて良かった」「集まりがなければ家にばかりおるけん良かった」などの言葉が聞かれました。

今後は、お出かけサロンや演奏ボランティアなどの計画も立てられており、皆さんで楽しい集まりになるよう話し合いをされています。福原地区の方ならどなたでも参加できますので、参加をお待ちしています。

福寿会開催日
日時 毎月第1木曜日
13時30分から
場所 福原公民館



「福寿会」に参加の皆さん



頭も体も動かしながら楽しくサロン実施中です



ペットボトルに箸を出し入れするゲーム

福祉体験学習 i n 広安西小学校

在宅福祉課

10月21日(金)5年生3クラス、28日(金)に4年生3クラスを対象に福祉体験学習を行いました。

福祉体験学習とは

小中学生を対象に、高齢や障がいについて理解を深めることを目的に講話や車イス、歩行器等の福祉用具に実際に触れて体験する学習の場として、学校側の依頼により実施しています。

車イス体験では、介助する側(車イスを押す人)と介助される側(車イスに乗る人)を交代でそれぞれ体験し、介助する際の声かけや気遣いを肌で感じてもらうことができました。

他にも福祉用具貸与事業所千広(ちひろ)の協力をいただき、電動ベッドや歩行器、杖、自助具などの体験を行いました。千広の石村さんから、これらの福祉用具の説明をされ、実際に体験することで福祉用具の必要性についても学ぶ機会となりました。

終了後には感想発表もあり「困っている人がいたら積極的にお手伝いをしたいと思いました」「車イスに乗る人の気持ちが分かりました」といった感想が聞かれました。



楽しみながら学ぶことができました

車イス体験



(4年生) 元気いっぱいな児童たち

電動ベッド・歩行器体験



(4年生) 歩行器、シルバーカー体験



(5年生) 電動ベッド体験

感想発表



(4年生) 感想発表の様子



(5年生) 素敵な感想が聞かれました



(5年生) 待ち時間も有意義に

活動団体紹介

地域支え合いセンター

絆 〜ボッチャ〜

今回は木山仮設団地で活動している「絆」の紹介です。震災後避難所生活の時から現在に至るまでたくさんの方に助けられ「絆」を感じ、これからもつないでいきたいという思いから「絆」と名づけられました。

当時、木山仮設団地の集会所は日中開放しており、たくさんの方が毎日のようにボッチャを楽しんでぎわっていました。現在は、コロナ禍で大人数での活動はできず3名程度で月に2回汗を流しています。参加している皆さんからは「ボッチャがある日は楽しみで、いつもより早く

目が覚める」「適度に運動もできて、おしゃべりも楽しい」「この場所がある限りは続けていきたい」と口を揃えて話していただきました。



絆レディースです



毎回投げる瞬間は緊張します



勝敗は・・・？

球磨村、八代市支援

地域支え合いセンター

社協地域支え合いセンター運営支援

10月13日(木)から14日(金)に

球磨村社協地域支え合いセンター、26日(水)に八代市社協地域支え合いセンターへ運営支援に行ってきました。両センターは、令和2年7月の豪雨災害後に設置され、被災された皆さんに寄り添いながら仮設団地、みなし仮設、在宅被災世帯の訪問活動をされています。

球磨村では、定例会やお茶会参加、八代市では被災地区(坂本地区)を視察し、両センターの相談員の皆さんと意見交換を行い、益城町での活動を通じてアドバイスさせていただきました。

きました。益城町地域支え合いセンターも引き続き、住民の皆さんに寄り添った支援を続けていきたいと思えます。



八代市の仮設団地



球磨村仮設団地の集会所



球磨村仮設団地のお茶会「よけまん」



八代市地域支え合いセンターでの意見交換

社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

◇ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」に悩んでいる方へ

小さな一歩を踏み出すために

ひきこもりって？・・・ひきこもりは様々な要因によって対人交流や社会的な参加の場が、長期にわたり少なくなっている状態のことです。誰にでも起こりえますが、長く続くとひきこもり状態から抜け出しにくくなることもあります。

一人で悩まず一緒に考えていきませんか。あなたのタイミングで気軽に相談してください。ご家族や知り合いの方からの相談も受け付けています。

問 地域福祉課

☎096・214・5566

県ひきこもり地域支援センターゆりこ

☎096・386・1177

◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決と一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。ま

た、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日 12月20日(火)

13時30分から 14時30分から

15時30分から

場所 役場仮設庁舎1階会議室

※事前予約制です。

問 地域福祉課

☎096・214・5566

◇在宅介護者のつらい

ご自宅で高齢者等の介護をされている方を対象に介護者同士の交流や情報交換の機会をつくり、介護疲れをいやすことを目的としています。

今回は、同じ想いを持った人で「つながろう」をスローガンに楽しいゲームや木工細工のクリスマスツリー作製を行います。ぜひ、ご参加ください。

日時 12月21日(水) 10時から12時

場所 益城町保健福祉センター2階工作室

※事前の申し込みをお願いします。

問 在宅福祉課

☎096・214・5566

◇地域支え合いセンターお茶会

今年度3回目のお茶会を開催します。お気軽に参加ください。

日時 12月27日(火) 11時から13時

場所 木山仮設団地東集会所、談話室

※当日は木山仮設団地東集会所前の車両での通行はできません。

問 地域支え合いセンター

☎096・289・6092

◇火の国ボランティアフェスティバルin葦水

第13回目となる今回は、初のオンライン開催となっております。どなたでも参加可能です。一緒にボランティアの絆を深めませんか。詳細は左側のQRコードをご確認ください。

日時 12月10日(土) 12時30分から16時

場所 益城町保健福祉センター多目的室

参加費 無料

問 地域福祉課

☎096・214・5566



◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。電話での相談も対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)

日時 毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

電話 080・8427・8981

(開設時間のみ)

場所 役場仮設庁舎1階相談室

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問 地域支え合いセンター

☎096・289・6092

日程	専門相談員	相談員	
12月7日(水)	松尾英美 (司法書士)	森田恭子 (民生児童委員)	
12月14日(水)	松尾英美 (司法書士)	後藤奈保子 (人権擁護委員)	米岡文子 (民生児童委員)
12月21日(水)	松尾一 (行政相談委員)	谷川淳子 (人権擁護委員)	内山美佐子 (民生児童委員)
12月28日(水)	橋場紀仁 (行政書士)	遠山美智子 (消費生活相談員)	上野和子 (民生児童委員)
1月4日(水)	松尾英美 (司法書士)		太田和夫 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。



上砥川さくら会

場所：上砥川公民館 日時：毎月16日 10時



広崎一町内ふれあい会

場所：広崎一町内公民館 日時：毎月第2火曜日 10時



平田さわやかサロン

場所：平田教育集会所 日時：毎月第2火曜日 13時30分



田原寿会

場所：田原公民館 日時：毎月18日 9時30分

地域を支えるふくしの輪

火の国ボランティアフェスティバル

火の国ボランティアフェスティバルは、平成17年に開催された「第14回全国ボランティアフェスティバル火の国熊本大会」をきっかけに、地域ボランティア活動のより一層の振興をはかるため、熊本県内を10のブロックに分け、ボランティア関係のメイン行事として毎年持ち回りで開催されています。

ボランティアが県下の地域福祉活動の中心的役割を担っていることはもとより、防災や防犯などの多種多様な地域課題に対し、様々な活動が展開され、今後もより一層の活動が期待されます。

今年は、12月10日(土)に初のオンラインで開催されます。詳細はP7の社協情報欄をご覧ください。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



今年は芦北町、津奈木町、水俣市が主催です

2022年

12月

No.297

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470
益城町保健福祉センター「はびねす」内
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

